

株式会社 よみうりランド

証券コード9671

Contents

- 株主の皆様へ／01
- 営業の概況／01・02
- 事業の種類別セグメントの概況／03・04・05・06
- 財務諸表〔個別〕／07・08
- 財務諸表〔連結〕／09・10
- 業績ハイライト／11・12
- トピックス／13
- 株式の状況／14
- 会社の概況／14
- 株主メモ

82 期
第

事業報告書

H17・04・01 ▶ H18・03・31



よみうりランドキャラクター
ランドドッグ

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループ第82期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の事業の概況を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

平成18年6月

代表取締役会長兼社長

中保 章



営業の概況

01

営業の経過及び成果

当連結会計年度における我が国経済は、引き続き好調な設備投資と雇用環境の改善による個人消費の好転などを背景に企業収益が高水準で推移し、株式市場もデフレ脱却への期待などで活況を見せており、原油高の懸念はあるものの、景気は着実に回復を続けております。

当社グループの関連する業界におきましても、回復傾向は見せておりますが、少子高齢化の影響や余暇構造の変化により、依然として不透明感は拭えない状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、東京よみうりカントリークラブの女子浴室及びロッカー室の改修、遊園地でのキャラクターのランドドッグをモチーフにしたコースター「わんデット」新設など施設を整備し、顧客サービスの向上に努めました。

この結果、当連結会計年度における売上高は、静岡よみうりカントリークラブの「開場20周年記念」の営業政策が功を奏したことや、「よみうりランド慶友病院」などシニア施設への賃貸が増収要因となったほか、船橋競馬場で駐車場を有料化したことによる増収策などにより、146億8千万円（前期比8.9%増）、営業利益は17億6千6百万円（前期比46.7%増）、経常利益は18億4千4百万円（前期比59.4%増）、当期純利益は11億1千4百万円（前連結会計年度は減損損失の計上等により41億7千6百万円の当期純損失）となりました。

対処すべき課題

今後の我が国経済は、企業業績の堅調な推移に伴い雇用環境及び個人消費が改善され、回復基調は続くものと予想されます。しかしながら、今後の金利負担や賃金上昇などの要因が企業収益を圧迫する懸念もあり、企業間格差はさらに拡大してくるものと思われま

す。当社グループの関連する業界におきましても、低価格競争が激しさを増し、消費者によって特色のある付加価値が追求されるなど、事業環境は新たな局面を迎えております。

このような状況の下、当社グループは引き続き投資効率を重視した設備投資と財務体質の健全性の確保、役割・成果重視による事業運営、グループ経営の効率化及び新規事業の積極開発と人材活用の推進により企業価値の向上を図るとともに、今まで以上に「顧客満足度の最大化」を重要課題として取り組んでまいります。既存事業におきましても、遊園地では、安全対策を最優先し、接客サービスの更なるレベルアップ及び新鮮なイベント展開の継続とブランドイメージの確立に努めます。よみうりランド丘の湯は、強みである徹底した衛生管理を継続し、絶好のロケーションを前面に出すとともに、季節イベントの展開などリピーターの安定した確保を図り、近隣店舗との競争激化に対応してまいります。ゴルフ場では、安易な低価格競争とは一線を画し、顧客満足度を高める工夫を凝らした企画、料金に見合ったサービスの提供により集客を図ります。また、先行きが不透明である公営競技界の競馬場、オートレース場では、施設の整備は元より、主催者とも協力してファンサービスの向上に努めてまいります。

さらに、所有地の有効活用として賃貸を開始したシニア施設は、安定した収益に寄与しておりますが、新たな土地の賃貸として、遊園地バスターミナル脇に診療6科のよみうりランドクリニックモールが6月に完成予定です。

今後とも当社グループは、ビジネスチャンスを逃すことのないよう、情報収集や報告に緊張感を持って臨み、お客様にご支持いただけるアミューズメントの提供、地域社会にも貢献できる所有地の有効活用に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業の種類別セグメントの概況 (セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます)

総合レジャー事業

賃貸部門 川崎・船橋競馬をとりまく南関東ブロックでは、5月よりネットバンク投票が導入され、在宅投票の更なる充実化が図られました。また、9月からは大井競馬専用場外発売所であったオフト後楽園にて、南関東4競馬場の投票券が購入可能となるなどファンへの利便性が向上しました。

このような状況の下、川崎競馬は66日開催されました。川崎競馬における投票券総売上高は、在宅投票や場外発売が好調だったことにより、増加しました。また、他場開催時の場外発売は、南関東場外（船橋・大井・浦和）が前期比8日増の210日実施されたほか、広域場外発売レースも積極的に実施されました。なお、川崎競馬場における当社の収入は、安定した水準で推移しましたが、賃貸収入は、算定の基本となる本場での投票券売上高が減少したため、前期より減少しました。

03 船橋競馬は52日開催されました。在宅投票が好調だったものの、台風による中止などにより開催日数が前期比で2日減少したことや、本場での一人当たりの購買金額の減少が影響し、投票券総売上高は減少しました。また、他場開催時の場外発売は、南関東場外（川崎・大井・浦和）が前期比11日増の214日実施されたほか、川崎競馬同様広域場外発売レースも積極的に実施されました。なお、船橋競馬場における当社の賃貸収入は、駐車場を有料化したことや遊休地を活用したことによるコンビニエンスストアの賃貸収入が加わったことなど、所有地の有効活用を推進した結果、前期より増加しました。

船橋オートレースは72日開催されました。4月に業界の構造改革が実施され、開催日数の見直しや相互場外発売の拡大などが行われました。これに伴い、他場開催時の場外発売は、前期比124日増の204日（8月7日の本場とナイター場外のリレー開催は各1日として計算）実施されましたが、本場開催日数が前期比31日減少したため、賃貸収入は本場での投票券売上減少分を補うことができず、前期より減少しました。

以上の結果、賃貸部門の収入は、33億1千4百万円（前期比1.4%増）となりました。



▲船橋競馬場

ゴルフ部門 東京よみうりカントリークラブは、女子浴室及びロッカー室の改修とレディースデーなどの企画により女性層を開拓したほか、クラブ主催コンペの開催などを実施し集客を図りました。また、気象状況によるクローズが昨年よりも減少したこともあり、入場者、ゴルフ収入ともに増加しました。

よみうりゴルフ倶楽部は、コースの良化維持に努めるとともに、平日動員対策の一環として実施したシニア誘致企画が、昨年からの乗用カート営業と相乗効果を生み、新規顧客層を開拓しました。また、東京よみうりカントリークラブ同様、クローズも半減し、入場者、ゴルフ収入ともに増加しました。

静岡よみうりカントリークラブは、「開場20周年記念」を柱とした宣伝広告などの実施により新規顧客を獲得しました。お客様のニーズに合った利用料金の設定、ポイントカードや各種キャンペーンの展開などにより、リピーターの獲得にも成功し、入場者、ゴルフ収入とも大幅に増加しました。

千葉よみうりカントリークラブは、課題であった平日対策として実施した1組単位のセット企画が、年間を通して好評を博し、平日の集客に大きく貢献しました。また、クーポン券の配布、雑誌協賛など様々な企画を実施したほか、ダイレクトメールなど積極的な宣伝活動の結果、荒天によるクローズが前期より2日増えたものの、入場者、ゴルフ収入ともに増加しました。

この結果、ゴルフ部門の収入は、入会登録料収入が減少したものの33億5千4百万円（前期比5.0%増）となりました。



サロンパスワールドレディースゴルフトーナメント2005（東京よみうりカントリークラブ・5月開催）

遊園地部門

遊園地は、昨年に引き続き実施した「中高生こども料金」を中心とした料金政策及び実施日数を増やしたキャラクターショーなどが、中高生やファミリー層の安定した集客につながりました。また、新規遊戯機「わんデット」が幅広い客層から支持を得るとともに、映画「妖怪大戦争」とのタイアップ企画である「妖怪屋敷」などの夏期イベントが貢献し、入園者は増加しました。



▲妖怪屋敷

夏のプールWAIは、床面改修など施設の整備により顧客満足度の向上に努めたことや、シーズンパスの積極的な販売政策がリピーター獲得に効果を発揮し、また営業期間中の猛暑にも支えられ、入場者は増加しました。

05

ゴルフガーデン（練習場）は、リピーター向けのイベント展開などをはじめとした積極的な営業活動が効果を上げるとともに、女子プロ人気によるゴルファー人口の増加という背景もあったことなどから、広範囲からの来場者も多く見られ、入場者は増加しました。

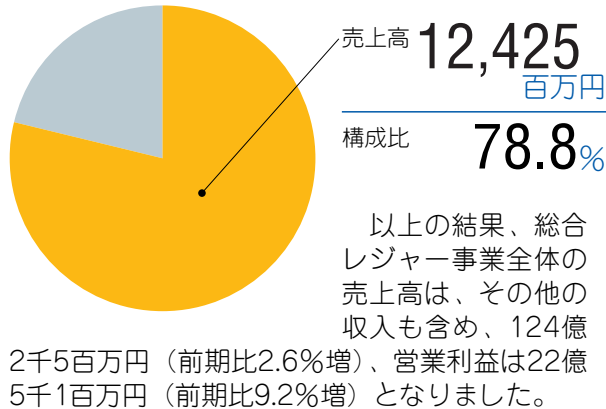
温浴施設「よみうりランド丘の湯」は、引き続き徹底した衛生管理や回数券の導入に加え、食堂における季節ごとのメニュー変更など定期的なリニューアルがリピーターの定着化につながるとともに、閑散期における宣伝展開や冬の寒さが来客増に寄与し、入場者は増加しました。

以上の結果、遊園地部門の収入は、総じて好調に推移したものの、宿泊施設ランド会館の営業終了に伴う減収が影響し、22億4千1百万円（前期比2.6%減）にとどまりました。

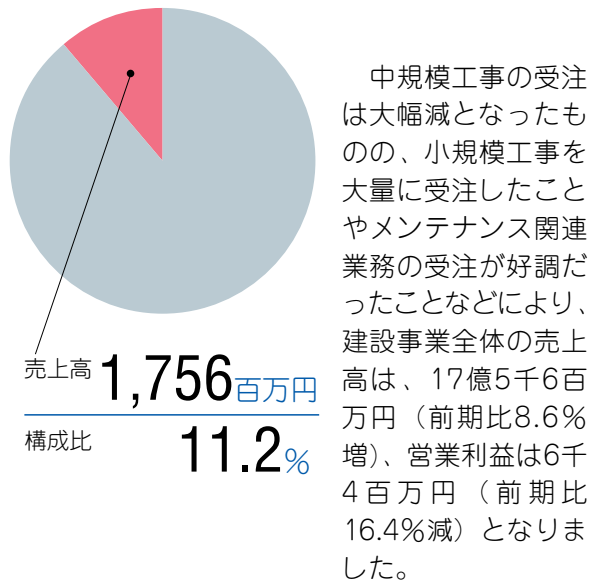
販売部門

食堂・売店の売上は、直営コンビニエンスストア3店舗がフル稼働したことに加え、ゴルフ場での増収などにより、28億9千万円（前期比3.0%増）となりました。

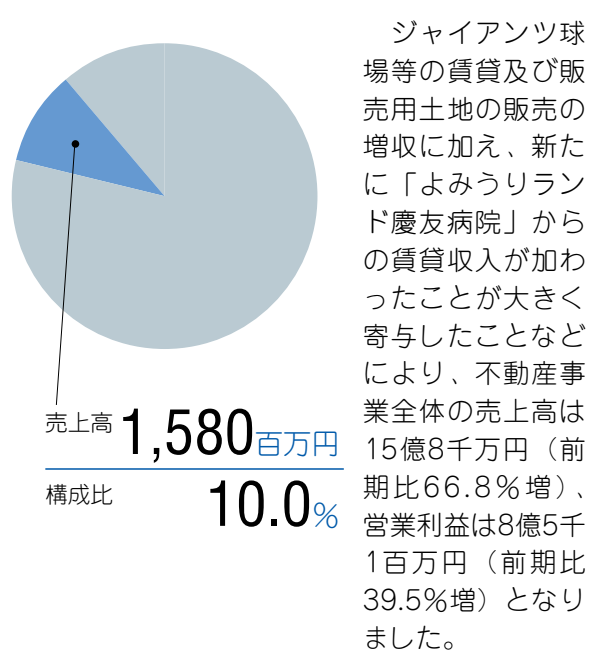
総合レジャー事業



建設事業



不動産事業



▲よみうりランド慶友病院

財務諸表〔個別〕

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末 平成18年3月31日現在	前期末 平成17年3月31日現在	比較増減
(資産の部)			
流 動 資 産	6,891	9,533	△ 2,642
現金及び預金	3,604	7,204	△ 3,600
営業未収金	1,501	902	599
有価証券	499	—	499
商 用 品	17	17	△ 0
販売用土地	991	1,138	△ 147
貯 蔵 品	6	5	1
前 払 費 用	6	9	△ 2
繰延税金資産	145	90	55
短期貸付金	2	1	0
未 収 入 金	108	150	△ 41
そ の 他	7	14	△ 6
貸倒引当金	△ 0	△ 0	△ 0
固 定 資 産	52,825	51,552	1,272
有形固定資産	38,272	38,927	△ 655
建 物	8,542	8,990	△ 447
構 築 物	8,793	9,297	△ 504
機 械 及 び 装 置	644	716	△ 71
車両及び運搬具	65	65	△ 0
工具、器具及び備品	310	341	△ 30
土 地	19,906	19,516	389
建設仮勘定	10	—	10
無形固定資産	85	68	16
施設利用権	63	64	△ 0
そ の 他	21	3	17
投資その他の資産	14,467	12,556	1,911
投資有価証券	13,404	11,717	1,686
子 会 社 株 式	126	126	—
長期前払費用	59	4	55
退職給付特定引当資産	222	233	△ 10
そ の 他	655	475	179
資 産 合 計	59,716	61,086	△ 1,369

科 目	当期末 平成18年3月31日現在	前期末 平成17年3月31日現在	比較増減
(負債の部)			
流 動 負 債	6,943	9,296	△ 2,353
営業未払金	186	174	12
短期借入金	3,600	3,730	△ 130
1年以内返済の長期借入金	1,095	1,986	△ 891
未 払 金	303	2,481	△ 2,177
未 払 費 用	833	643	190
未 払 法 人 税 等	626	67	559
預 り 金	139	107	32
賞 与 引 当 金	74	67	7
そ の 他	83	40	43
固 定 負 債	32,222	32,712	△ 490
長期借入金	4,231	5,326	△ 1,095
繰延税金負債	2,961	2,269	692
退職給付引当金	522	651	△ 129
役員退職慰労引当金	141	122	19
長期預り金	24,365	24,343	22
負 債 合 計	39,165	42,009	△ 2,843
(資本の部)			
資 本 金	6,053	6,053	—
資 本 剰 余 金	4,730	4,730	0
資本準備金	4,730	4,730	—
その他資本剰余金	0	0	0
自己株式処分差益	0	0	0
利 益 剰 余 金	6,513	5,915	597
利益準備金	1,513	1,513	—
任意積立金	2,700	7,720	△ 5,020
配当平均積立金	—	520	△ 520
固定資産圧縮積立金	1,030	1,030	—
別途積立金	1,670	6,170	△ 4,500
当期末処分利益又は当期末処理損失(△)	2,298	△ 3,318	5,617
株 式 等 評 価 差 額 金	3,854	2,944	910
自 己 株 式	△ 600	△ 567	△ 33
資 本 合 計	20,550	19,076	1,474
負 債 及 び 資 本 合 計	59,716	61,086	△ 1,369

Non-Consolidated Financial Statements

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	比較増減
(経常損益の部)			
営業損益の部			
営業収益	13,305	12,795	509
売上高	13,305	12,795	509
営業費用	11,706	11,717	△ 10
売上原価	10,389	10,258	130
一般管理費	1,317	1,458	△ 140
営業利益	1,598	1,078	520
営業外損益の部			
営業外収益	217	173	44
受取利息	2	10	△ 8
受取配当金	115	76	39
事業保険差益	12	24	△ 12
受取保険金	21	—	21
その他の収益	65	62	3
営業外費用	133	219	△ 86
支払利息	133	213	△ 79
その他の費用	0	6	△ 6
経常利益	1,682	1,031	650
(特別損益の部)			
特別利益	29	108	△ 79
投資有価証券売却益	10	20	△ 10
固定資産売却益	19	18	1
工事負担金	—	70	△ 70
特別損失	108	5,905	△ 5,797
固定資産除却損	101	955	△ 853
固定資産売却損	—	1	△ 1
投資有価証券売却損	1	21	△ 20
投資有価証券評価損	—	1	△ 1
災害損失	5	91	△ 85
減損損失	—	4,835	△ 4,835
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	1,603	△ 4,765	6,368
法人税、住民税及び事業税	585	20	565
法人税等調整額	12	80	△ 68
当期純利益又は 当期純損失(△)	1,005	△ 4,866	5,871
前期繰越利益	1,497	1,547	△ 50
中間配当額	204	—	204
当期末処分利益又は 当期末処理損失(△)	2,298	△ 3,318	5,617

利益処分

(単位：円)

科 目	当期 平成18年6月23日決議	前期 平成17年6月24日決議
当期末処分利益	2,298,786,106	—
当期末処理損失	—	3,318,440,914
これを次のとおり処理します。		
任意積立金取崩額	—	—
配当平均積立金取崩額	—	520,000,000
別途積立金取崩額	—	4,500,000,000
計	—	5,020,000,000
合計	—	1,701,559,086
これを次のとおり処分します。		
利益配当金	204,161,270	204,259,278
(1株につき)	(2円50銭)	(2円50銭)
役員賞与金	34,800,000	—
(うち監査役賞与金)	(2,300,000)	(—)
任意積立金	—	—
別途積立金	500,000,000	—
次期繰越利益	1,559,824,836	1,497,299,808

(注) 平成17年12月1日に204,213,975円(1株につき2円50銭)の中間配当を実施しました。

財務諸表〔連結〕

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 平成18年3月31日現在	前連結会計年度末 平成17年3月31日現在	比較増減
(資産の部)			
流 動 資 産	7,855	9,401	△1,546
現金及び預金	5,037	7,533	△2,495
受取手形及び営業未収金	1,630	1,009	620
有 価 証 券	499	—	499
た な 卸 資 産	465	629	△ 163
繰 延 税 金 資 産	180	130	50
そ の 他	42	100	△ 57
貸 倒 引 当 金	△ 0	△ 0	△ 0
固 定 資 産	53,409	49,345	4,063
● 有形固定資産	39,234	36,249	2,985
建物及び構築物	20,767	18,167	2,599
機械装置及び運搬具	747	816	△ 68
工具、器具及び備品	423	369	54
土 地	17,286	16,896	389
建設仮勘定	10	—	10
無形固定資産	88	71	16
その他の無形固定資産	88	71	16
投資その他の資産	14,085	13,025	1,060
投資有価証券	12,572	11,731	841
繰 延 税 金 資 産	558	562	△ 4
そ の 他	954	731	223
資 産 合 計	61,264	58,747	2,516

POINT解説●主な増加要因は、株式会社よみうりメディカルサービスを新規連結したことによるものであり、その内容は「よみうりランド慶友病院」の建物等です。

科 目	当連結会計年度末 平成18年3月31日現在	前連結会計年度末 平成17年3月31日現在	比較増減
(負債の部)			
流 動 負 債	7,082	9,368	△ 2,286
営業未払金	424	347	77
短期借入金	3,600	3,730	△ 130
1年以内返済の長期借入金	1,095	1,986	△ 891
未払法人税等	629	73	556
賞与引当金	101	85	16
そ の 他	1,231	3,146	△ 1,915
固 定 負 債	36,047	32,840	3,207
長期借入金	4,231	5,326	△ 1,095
繰 延 税 金 負 債	2,966	2,271	694
退職給付引当金	630	755	△ 124
役員退職慰労引当金	141	122	19
長期預り金	24,667	24,351	316
●匿名組合預り金	3,406	—	3,406
そ の 他	3	13	△ 10
負 債 合 計	43,130	42,209	921
(少数株主持分)			
少 数 株 主 持 分	7	—	7
(資本の部)			
資 本 金	6,053	6,053	—
資 本 剰 余 金	4,730	4,730	0
利 益 剰 余 金	4,083	3,374	709
株 式 等 評 価 差 額 金	3,860	2,947	912
自 己 株 式	△ 600	△ 567	△ 33
資 本 合 計	18,127	16,538	1,588
負債、少数株主持分及び資本合計	61,264	58,747	2,516

POINT解説●主な減少要因は、前連結会計年度末の「よみうりランド慶友病院」建設代金の未払金が減少したことによるものです。

POINT解説●株式会社よみうりメディカルサービスを営業者とする匿名組合への出資者からの預り金です。

Consolidated Financial Statements

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	比較増減
(経常損益の部)			
営業損益の部			
営業収益	14,680	13,479	1,200
売上高	14,680	13,479	1,200
営業費用	12,913	12,275	637
売上原価	11,496	10,713	783
販売費及び一般管理費	1,417	1,562	△ 145
営業利益	1,766	1,203	562
営業外損益の部			
営業外収益	212	176	36
受取利息	2	10	△ 8
受取配当金	115	76	39
事業保険差益	12	24	△ 12
受取保険金	21	—	21
その他の収益	60	65	△ 4
営業外費用	134	223	△ 88
支払利息	133	213	△ 79
その他の費用	1	10	△ 9
経常利益	1,844	1,156	687
(特別損益の部)			
特別利益	31	115	△ 84
投資有価証券売却益	11	27	△ 16
固定資産売却益	19	18	1
貸倒引当金戻入額	—	0	△ 0
工事負担金	—	70	△ 70
●特別損失	112	5,100	△ 4,987
固定資産除却損	102	952	△ 849
固定資産売却損	—	14	△ 14
投資有価証券売却損	1	21	△ 19
投資有価証券評価損	3	1	1
災害損失	5	91	△ 85
減損損失	—	4,019	△ 4,019
匿名組合損益分配前税金等調整前 当期純利益又は匿名組合損益分配 前税金等調整前当期純損失(△)	1,762	△3,828	5,590
匿名組合損益分配額	33	—	33
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	1,729	△3,828	5,557
法人税、住民税及び事業税	591	28	563
法人税等調整額	22	320	△ 297
少数株主利益	0	—	0
当期純利益又は 当期純損失(△)	1,114	△4,176	5,290

連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	4,730	4,730
資本剰余金増加高	0	0
自己株式処分差益	0	0
資本剰余金期末残高	4,730	4,730
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	3,374	7,779
利益剰余金増加高	1,117	—
当期純利益	1,114	—
連結子会社増加に伴う増加高	3	—
利益剰余金減少高	408	4,404
配当金	408	204
役員賞与	—	24
(うち監査役賞与)	(—)	(2)
当期純損失	—	4,176
利益剰余金期末残高	4,083	3,374

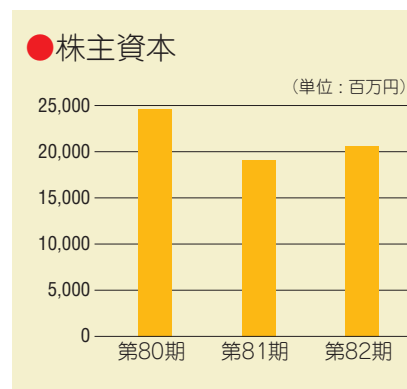
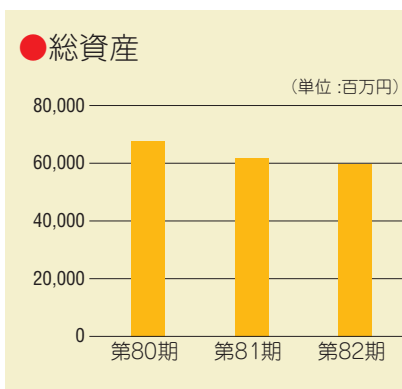
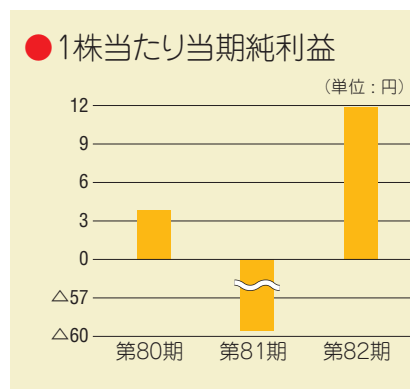
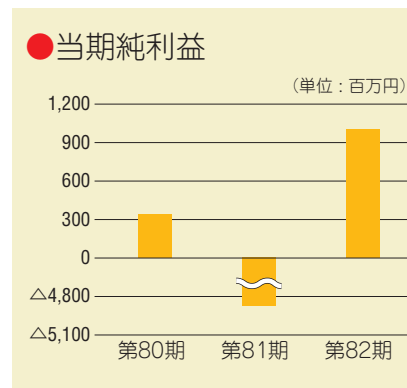
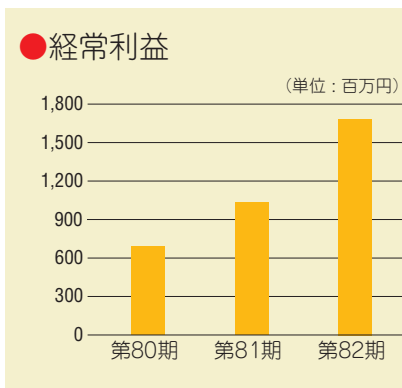
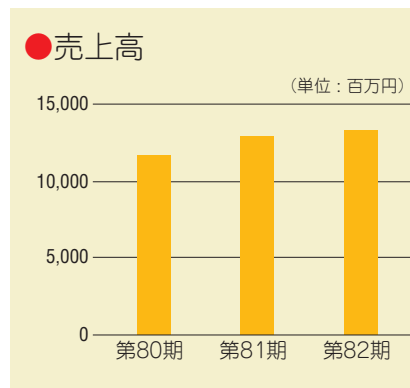
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,026	7,639
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,962	△1,945
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,557	△4,076
現金及び現金同等物の増減額	△2,493	1,617
現金及び現金同等物の期首残高	7,463	5,845
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	487	—
現金及び現金同等物の期末残高	5,457	7,463

POINT解説●主な減少要因は、前連結会計年度において、減損会計を早期適用したことにより減損損失を計上したこと及び宿泊施設ランド会館の営業終了による除却損の計上です。

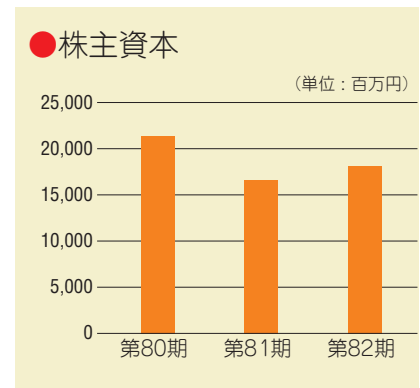
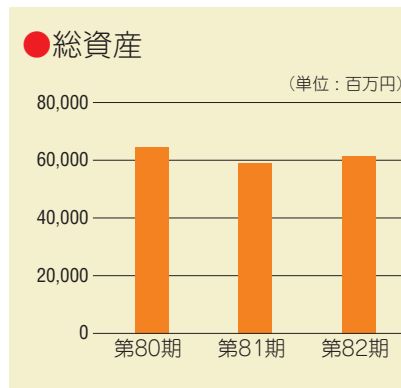
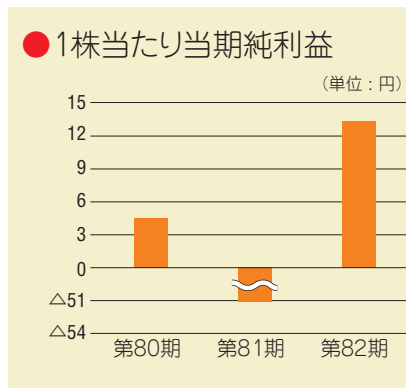
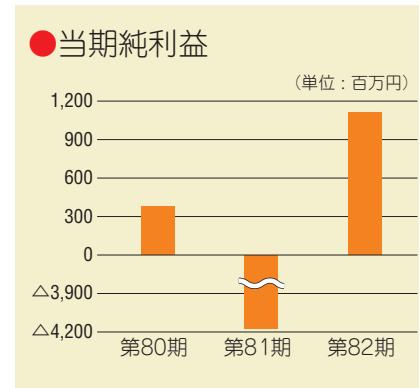
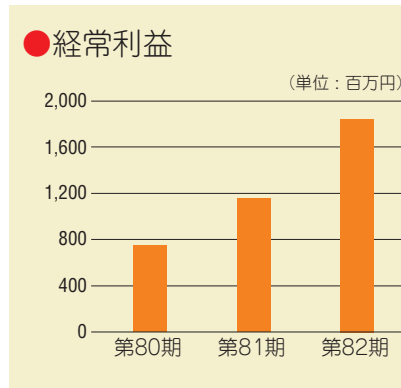
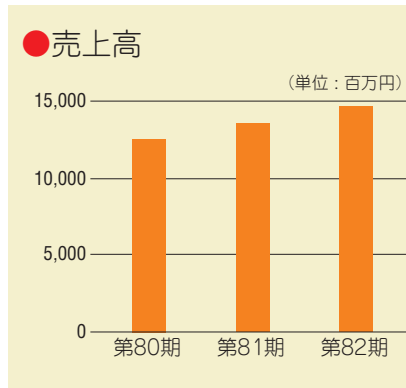
業績ハイライト[個別]



11

科 目	第80期	第81期	第82期
売上高 (百万円)	11,633	12,795	13,305
経常利益 (百万円)	688	1,031	1,682
当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)	339	△4,866	1,005
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△) (円)	3.86	△59.54	11.89
総資産 (百万円)	67,424	61,086	59,716
株主資本 (百万円)	24,600	19,076	20,550

業績ハイライト[連結]



科 目	第80期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	第81期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	第82期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高 (百万円)	12,504	13,479	14,680
経常利益 (百万円)	751	1,156	1,844
当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)	380	△4,176	1,114
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△) (円)	4.36	△51.11	13.21
総資産 (百万円)	64,450	58,747	61,264
株主資本 (百万円)	21,372	16,538	18,127

トピックス

遊園地に新規遊戯機登場！

わくわくドキドキ「わくわくドライブ」

わんわんコースター「わんデット」

平成17年4月1日、遊園地に約4年ぶりに新規遊戯機「わくわくドライブ」が登場しました。こちらは8の字に立体交差した走路の上を、車両が走行するもので、小さなお子様のみでご利用いただけるアトラクションとなっております。車両に設置されたハンドルを回したりしながら、まるでご自分で運転されているかのような気分をお楽しみいただけます。

オープン初日には25回連続で乗車されたお客様もいらっしゃるなど、小さなお子様達の人気を集めております。また、お客様が楽しんでいらっしゃる様子を撮影する絶好のポイントとして、保護者の方からも大変ご好評をいただいております。

続いて7月23日にも新規遊戯機が登場しました。よみうりランドのイメージキャラクター「ランドドッグ」をモチーフにしたコースターで、その名も「わんデット」！

もともとの設計は小さなお子様向けのコースターでしたが、コースレイアウトの調整を行い、小中高生をはじめ、大人のお客様でもお楽しみいただける内容になっております。

オープン以来、多くのお客様からご支持いただき、一躍人気遊戯機となりました。ジェットコースターはどうしても苦手という方も、この「わんデット」でコースターの楽しさをぜひ味わってください。



▲わくわくドライブ



▲わんデット

わくわくドライブ

利用料金：1人1回300円 ※ワンデーパス、キッズライドパス利用可
制限：3才以上、身長90cm～130cm

わんデット

利用料金：1人1回300円 ※ワンデーパス利用可
制限：3才以上、身長90cm以上 ※5歳未満要付添

お問い合わせ

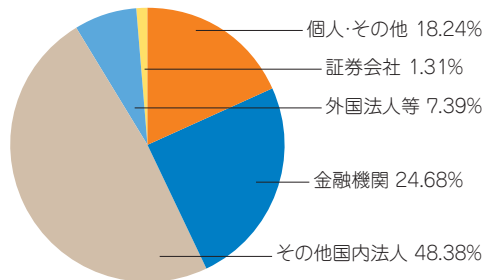
よみうりランド遊園地

電話番号 044-966-1111

<http://www.yomiuriland.co.jp>

株式の状況 (平成18年3月31日現在)

- 会社が発行する株式総数 ……………294,196,000株
- 発行済株式総数 ……………83,522,024株
- 当期末株主数 ……………6,149名
- 所有者別株主比率



● 大株主

株主名	当社への 出資状況		当社の当該株主への 出資状況	
	持株数 (千株)	議決権比率 (%)	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	11,553	14.25	—	—
日本テレビ放送網株式会社	11,242	13.86	523	2.06
株式会社東京ドーム	5,821	7.18	444	0.23
中央三井信託銀行株式会社	4,053	5.00	—	—
大成建設株式会社	2,852	3.52	—	—
第一生命保険相互会社	2,668	3.29	—	—
バンク オブ ニューヨーク シーエム クライアント アカウンツィー アイエスジー	2,621	3.23	—	—
株式会社読売巨人軍	2,014	2.48	—	—
京王電鉄株式会社	1,700	2.10	—	—
株式会社横浜銀行	1,631	2.01	183	0.01

会社の概況

● 会社の概要 (平成18年3月31日現在)

商号	株式会社よみうりランド (英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)
本店所在地	東京都稲城市矢野口4015番地1
設立	昭和24年9月24日
資本金	6,053,030,806円
企業集団の主要な事業内容	総合レジャー事業
貸付部門	競馬及びオートレースの競技場の貸付
ゴルフ部門	ゴルフ場の経営
遊園地部門	遊園地、ゴルフ練習場、温浴施設等の経営
販売部門	食堂、売店の経営
不動産事業	不動産の売買、賃貸
建設事業	建設業

● 当社の従業員状況 (平成18年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
169名	△8名	42歳7ヵ月	16年1ヵ月

● 役員 (平成18年6月23日現在)

代表取締役会長兼社長	中 保 章
専務取締役	関 根 達 雄
常務取締役	田 牧 清 司
常務取締役	志 摩 喜 三
取締役	増 山 光 男
取締役	片 岡 俊 一
取締役	番 井 晃 樹
取締役	田 中 敏 亨
取締役	正 力 山 一
取締役	桑 邊 健 一
取締役	渡 邊 恒 雄
取締役	氏 家 齊 一郎
監査役 (常勤)	西 逸 夫
監査役	瀨 平 野 久
監査役	平 野 昭 宏
監査役	細 川 知 正

株主メモ

Shareholders' Information

- 事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日
定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社 本店
- 同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-78-2031（フリーダイヤル）
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤル又はホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031（24時間受付：自動音声案内）
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

- 公告の方法 電子公告により行います。なお、以下のホームページアドレスにてご覧いただけます。
<http://www.yomiuriland.co.jp/ir/index.html>
但し、事故その他、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する読売新聞に掲載して行います。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 株主優待権利確定日 3月31日、9月30日

株式会社 よみうりランド

この事業報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

- 総務部 電話 044-966-1131
- ホームページ <http://www.yomiuriland.co.jp/>